

岩倉図書館開館二十周年記念講演会 平成二十七年六月十四日(日)



講師：京都産業大学 総合生命科学研究部

教授・歌人 永田和宏 氏

演題：「ことばの力」

会場：京都市立明德小学校 体育館

主催：京都市岩倉図書館

協力：京都産業大学・京都市立明德小学校

当日は曇り空でしたが、梅雨時には雨も降らず程よい気温の中、早くから参加者がみえられ、会場には一六〇名を超える聴衆の方がお集まりになりました。京都市図書館の出前事業専用車両「青い鳥号」も出勤、永田先生の著書を中心に講演テーマに沿った図書約二〇〇冊の出前貸出を行いました。

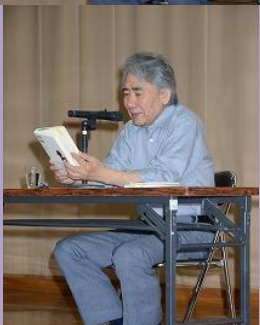
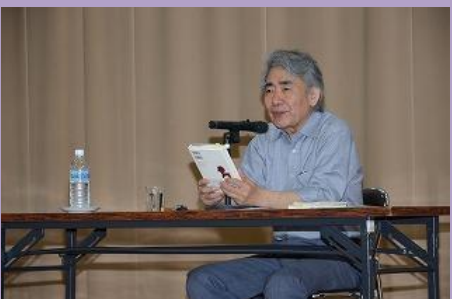


まず、館長から開館二〇年の歩みとして、平成七年の開館当初の様子と現在の館の現状についての話があり、時代にあった絆を紡ぐ新しい図書館としての役割も担いながら、今後も三〇周年、四〇周年と迎えていきますようにとのお願いがありました。

講師紹介では、体の元となる細胞、そして生命活動の主役であるタンパク質研究の権威であり、そして短歌の世界でもそのお名前は有名なこと、図書館主催の講演会ということで、本日の演題を「ことばの力」と決めていただいたこと、著書「現代秀歌」の冒頭の「伝えるべき相手が大切な人であればいっそう、伝えるべき内容が大切なことであればいっそう、それを日常の言葉で伝えることが絶望的にむずかしい」と書かれておられることを紹介され、先生のご経験と日頃お考えになっておられることなどのお話を伺いたいと結ばれました。



大きな拍手の後、永田先生の講演が始まりました。はじめて作った短歌が佳作に、二度目に作った短歌が特選になって、一度は短歌の世界から離れたこと。大学に入学してから奥様の河野裕子さんとの出会いなどのお話。本講演のために選歌いただいた短歌をもとに、人間関係の機微や世界とのつながり、ご自身の家族への愛情などが綴られていきました。



永田先生のお話は当日お聴きいただいた各々の心に沁みわたるような素晴らしいものとなりました。参加の皆様からも、来てよかった、歌を作ってみたくなった、感動したとの声が多く聞かれました。来ていただいた皆様、ご参加有難うございました。



(参考資料) 「ことばの力」本講演会のためにご用意いただいた永田先生による選歌集

「永田和宏氏 著作リスト」京都市図書館所蔵分

ことばの力

永田 和宏

なにとなく君に待たるるここちして出でし花野の夕月夜かな
与謝野 晶子『みだれ髪』
ゆく秋の大和の国の薬師寺の塔の上なる一ひらの雲
佐佐木 信綱『新月』

「寒いね」と話しかければ「寒いね」と答える人のいるあたたかさ

俵 万智『サラダ記念日』

そんなにいい子でなくていいからそのままでもいいからおまへのままがいいから

小島 ゆかり『獅子座流星群』

次々に走り過ぎゆく自動車の運転する人みな前を向く
奥村 晃作『三齡幼虫』

信号の赤に對ひて自動車は次々と止まる前から順に
奥村 晃作『鴝色の足』

秋深し菊人形の若武者の横笛いずれも唇に届かぬ
岩切 久美子『空耳』

逝きし夫のバッグのなかに残りいし二つ穴あくテレフォンカード
玉利 順子

亡き夫の財布に残る札五枚ときおり借りてまた返しおく
野久尾 清子

笑ふより外はえ知らぬをさな子のあな笑ふぞよ死なんとしつつ
窪田 空穂『鳥声集』

玉きはる命のまへに欲りし水をこらへて居よと我は言ひつる
島木 赤彦『氷魚』

さみしくてあたたかかりきこの世にて会ひ得しことを幸せと思ふ

河野 裕子『蟬声』

長生きして欲しいと誰彼数へつつつひにはあなたひとり数を数ふ
河野 裕子『蟬声』

手をのべてあなたとあなたに触れたきに息が足りないこの世の息が
河野 裕子『蟬声』

一日が過ぎれば一日減つてゆくきみとの時間 もうすぐ夏至だ
永田 和宏『夏・二〇一〇』

歌は遺り歌に私は泣くだらういつか来る日のいつかを怖る
永田 和宏『夏・二〇一〇』

参考図書

『近代秀歌』『現代秀歌』（岩波新書）

『NHK短歌 新版 作歌のヒント』『人生の節目で読んでほしい短歌』（NHK出版）

『歌に私は泣くだらう』（新潮文庫）、

『たとへば君』『家族の歌』（文春文庫）

京都市図書館所蔵 永田和宏氏 著作リスト

平成27年6月 岩倉図書館作成

請求記号・資料コードは岩倉図書館のもので、岩倉図書館に所蔵していない資料は予約して取り寄せすることができます。

※印の資料は予約・貸出ができません。所蔵館をご覧ください。

資料名	編・著者	発行所	発行年	請求記号()内は資料コード
1968年の世界史 「あの冬の記憶」永田和宏／著 所収	アラン・パディウ／ほか著	藤原書店	2009	中央・右京中央・醍醐中央
日本人の忘れもの 第2部 「言葉」永田和宏／述 所収	京都新聞社／編	京都新聞出版センター	2014	L/291.6ニ/2(850686377)
細胞の不思議 すべてはここからはじまる	永田和宏／著	講談社	2015	463ナ(850768160)
※細胞生物学事典	石川統・黒岩常祥・永田和宏／編集	朝倉書店	2005	伏見中央・右京中央・醍醐中央
タンパク質の一生 生命活動の舞台裏 (岩波新書)	永田和宏／著	岩波書店	2008	464ナ(850750369)
※塔事典 塔短歌会六〇周年記念	塔短歌会／編 永田和宏[ほか]／監修	塔短歌会	2014	右京中央
NHK短歌作歌のヒント	永田和宏／著	日本放送出版協会	2007	東山・洛西・久我
NHK短歌作歌のヒント 新版	永田和宏／著	NHK出版	2015	911ナ(850766729)
短歌と日本人5 短歌の私、日本の私 「『私』の変容」永田和宏／著 所収		岩波書店	1999	中央・右京中央
※岩波現代短歌辞典	岡井隆／監修 永田和宏[ほか]／編集委員	岩波書店	1999	中央・右京中央・醍醐中央・向島・久我
京都うた紀行 近現代の歌枕を訪ねて	永田和宏・河野裕子／著	京都新聞出版センター	2010	L/911ナ(850725070)
近代秀歌 (岩波新書)	永田和宏／著	岩波書店	2013	911ナ(850750385)
現代秀歌 (岩波新書)	永田和宏／著	岩波書店	2014	911ナ(850748143)
人生の節目で読んでほしい短歌	永田和宏／著	NHK出版	2015	911ナ(850767652)
歌に私は泣くだらう 妻・河野裕子闘病の十年	永田和宏／著	新潮社	2012	911ナ(850727677)
歌に私は泣くだらう 妻・河野裕子闘病の十年 (新潮文庫)	永田和宏／著	新潮社	2015	中央・醍醐中央
家族の歌 河野裕子の死を見つめた344日	河野裕子・永田和宏／著	産経新聞出版	2011	中央・伏見中央ほか
家族の歌 河野裕子の死を見つめて (文春文庫)	河野裕子・永田和宏／著	文藝春秋	2014	B/911ナ(850694337)
与謝野晶子を学ぶ人のために 「短歌革新の新戦略」永田和宏／著 所収	上田博・富村俊造／編	世界思想社	1995	右京中央
現代短歌全集 第16巻 「メビウスの地平」永田和宏／著 所収	上田三四二[ほか]／編集委員	筑摩書房	2002	中央
新・百人一首 近現代短歌ベスト100 (文春新書)	岡井隆・馬場あき子・永田和宏・穂村弘／選	文藝春秋	2013	醍醐中央・東山

資料名	編・著者	発行所	発行年	請求記号()内は資料コード
饗庭 永田和宏歌集	永田和宏／著	砂子屋書房	1998	中央・左京
華氏 永田和宏歌集	永田和宏／著	雁書館	1996	中央
高安国世アンソロジー	高安国世／著 永田和宏／編	青磁社	2009	山科
たとへば君 四十年の恋歌	河野裕子・永田和宏／著	文藝春秋	2011	911ナ(850712912)
永田和宏歌集	永田和宏／著	砂子屋書房	1990	911ナ(850750776)
永田和宏歌集 続	永田和宏／著	砂子屋書房	2005	911ナ/2(850750784)
夏・二〇一〇 歌集	永田和宏／著	青磁社	2012	中央・右京中央・醍醐
後の日々 永田和宏歌集	永田和宏／著	角川書店	2007	洛西
百万遍界隈 永田和宏歌集	永田和宏／著	青磁社	2005	中央・右京中央・左京
日和 歌集	永田和宏／著	砂子屋書房	2009	伏見中央
風位 永田和宏歌集	永田和宏／著	短歌研究社	2003	中央
言葉のゆくえ 俳句 短歌の招待席	坪内稔典・永田和宏／著 京都新聞社／編	京都新聞出版センター	2009	中央
新樹滴滴	永田和宏／著	白水社	2013	914ナ(850766460)
もうすぐ夏至だ	永田和宏／著	白水社	2011	914ナ(850766478)
日曜日の随想 2009 「体のなかの数字」永田和宏／著 所収	日本経済新聞社／編	日本経済新聞出版社	2010	醍醐中央
日曜日の随想 2010 「後の日々」永田和宏／著 所収	日本経済新聞社／編	日本経済新聞出版社	2011	右京中央・醍醐中央
心が楽になる介護のヒント 「相聞歌が深めた絆 乳がんの妻と最期まで」 永田和宏／著 所収	読売新聞生活部／編	中央公論新社	2013	916ナ(850674816)
永田和宏 シリス「牧水賞」の歌人たちVol.3	伊藤一彦／監修 松村正直／編集	青磁社	2008	右京中央・東山

永田和宏氏は、平成17年3月より朝日新聞掲載「朝日歌壇」の選者をつとめられています。
4人の選者による、各年の朝日歌壇の入選歌と評のすべてを収録。それぞれの選者が10首を改めて選んだ「年間秀歌」とその講評も巻頭に掲載。

資料名	編・著者	発行所	発行年	所蔵館
朝日歌壇 2006	佐佐木幸綱・高野公彦・永田和宏・馬場あき子／選 朝日新聞社／編	朝日ソノラマ	2006	中央・伏見中央
朝日歌壇 2007	〃	朝日新聞社	2007	〃
朝日歌壇 2008	〃	朝日新聞出版	2008	〃
朝日歌壇 2009	〃	〃	2009	〃
朝日歌壇 2010	〃	〃	2010	〃
朝日歌壇 2011	〃	〃	2011	〃
朝日歌壇 2012	〃	〃	2012	〃
朝日歌壇 2013	〃	〃	2013	〃
朝日歌壇 2014	〃	〃	2015	〃